

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

1) 大学全体

立命館大学はこの間の18歳人口が減少する中で、社会情勢や社会の人材ニーズに対応した既設学部・学科の教学改革・改組転換、新学部の設置、京都・滋賀に続き大阪での新キャンパス展開、既存キャンパスの充実のための整備・改修等、中長期計画に基づいた大学改革を推し進めてきた結果、平成23(2011)年度以降、一般入試総志願者数で全国8位以内を安定的に確保してきた。平成23(2011)年度から平成27(2015)年度の過去5年間の一般入試総志願者数で見ると、平成23(2011)年度75,683人、平成24(2012)年度85,138人、平成25(2013)年度82,637人、平成26(2014)年度86,935人、平成27(2015)年度87,668人であり、直近の4年間では安定的に80,000人規模を維持している(資料1)。さらに平成28(2016)年度の一般入学試験では94,930人の志願者を得た。

2) 改正の概要

今次の収容定員変更は、経営学部経営学科、文学部人文学科、理工学部電気電子工学科・機械工学科・都市システム工学科・環境システム工学科・ロボティクス学科・数理科学科・物理科学科・電子情報工学科・建築都市デザイン学科、国際関係学部国際関係学科、政策科学部政策科学科、映像学部映像学科、生命科学部応用化学科・生物工学科・生命情報学科・生命医科学科、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科といった既存の学部・学科の定員増であり、大学として新たに学部を設置し、養成する人材像を設定して学生募集を行うものではない。

経済学部と情報理工学部については、既設の複数学科を1学科に再編(経済学部：国際経済学科を廃止(学生募集停止)し、経済学科の収容定員を増加、情報理工学部：既設の4学科を廃止(学生募集停止)して新たに情報理工学科を設置)して学生募集を行うこととなるが、教育研究上の目的の変更は伴わず、学生募集上も大括り化することで受験生に訴求することとなる。

またいずれの学部・学科も今次の収容定員変更に伴う設置場所の変更はない。

3) 学生確保に関する地域別の動向

今次収容定員変更の対象となる学部・学科は以下のキャンパスに設置している。

所在地、キャンパス、最寄り駅	設置学部
京都市北区(衣笠キャンパス) 最寄り駅：JR山陰本線「円町」駅、 阪急電車京都本線「西院」駅	文学部、国際関係学部、映像学部
滋賀県草津市(びわこ・くさつキャンパス) 最寄り駅：JR琵琶湖線「南草津」駅	経済学部、理工学部、情報理工学部、 生命科学部、スポーツ健康科学部

大阪府茨木市（大阪いばらきキャンパス）
最寄り駅：JR 京都線「茨木」駅

経営学部、政策科学部

平成 27 (2015) 年度一般入試の地域ごとの志願者数を見ると、近畿圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）が 44,102 人で 50.3% を占め、次いで東海圏（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）が 15,374 人で 17.5% を占めている。中でも、府県ごとの志願者数で見れば、大阪府 18,292 人、愛知県 8,410 人、兵庫県 8,176 人、京都府 7,616 人、滋賀県 5,659 人と、近畿・東海圏の府県が上位を占めており、上位 5 府県の志願者が総志願者に占める割合は 54.9% である（資料 2）。

平成 27 (2015) 年度学校基本調査（速報値）での高等学校卒業者の大学（学部）進学率では、全国平均 48.8% に対して、滋賀県は 48.6% と若干下回るものの、大阪府 52.9%、愛知県 53.8%、兵庫県 55.5%、京都府 60.6% と全国平均を大きく上回る進学率となっており、これらの府県は高等教育への継続的な需要が見込まれる地域となっているといえる（資料 3）。

また、18 歳人口は減少傾向にあるが平成 35 (2023) 年までは 110 万人以上あることが想定されており、当面の学生募集について急激な環境面での変動はないと予測できる。

4) 過去 5 ヶ年の入学志願状況等からの学生確保の概要

本学入試における募集定員に対する志願倍率を、平成 23 (2011) 年度から平成 27 (2015) 年度の 5 ヶ年の平均で見ると、大学全体では 12.43 となっている。学部ごとの志願倍率の 5 ヶ年平均で見ると、数値の高いものから、生命科学部 25.55 倍、理工学部 20.05 倍、情報理工学部 11.52 倍、スポーツ健康科学部 11.44 倍、経済学部 11.34 倍、経営学部 10.69 倍、文学部 10.42 倍、政策科学部 10.14 倍、国際関係学部 10.11 倍、映像学部 9.75 倍となっている。

さらに平成 25 (2013) 年度から平成 28 (2016) 年度の 4 年間で大学全体の志願者数は増加傾向にあり、平成 28 (2016) 年度入学試験志願者数は一般入学試験 94,930 人（前年度 87,668 人）、特別入学試験 3,723 人（前年度 3,651 人）となっており、収容定員変更後も募集定員以上の志願者が確実に見通せる。

今次収容定員変更を行う学部・学科ごとの学生確保の概要は以下の通り。

<経済学部経済学科>

現在、経済学部は経済学科（入学定員 535 人）、国際経済学科（200 人）で構成され、学部の入学定員は 735 人である。前述の通り今次収容定員変更と関わって、平成 29 (2017) 年度教学改革を行い経済学科の 1 学科に改組し、経済学部経済学科の入学定員を 795 人とする。については学生確保の見通については、学部全体の志願状況から記す。

経済学部の過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 7,700 人から 9,100 人台で推移しており、志願倍率は過去 5 ヶ年の平均が 11.34 となっている。今次収容定員変更により入学定員が 795 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 10.48 である（「過去 5 ヶ年」は平成 23 (2011) 年度から平成 27 (2015) 年度の 5 ヶ年。以下、学部・学科ごとの状況を記す同様の箇所同じ）。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、経済学部の志願者数は 8,479 人 (前年度 8,803 人) で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

<経営学部経営学科>

経営学部経営学科は 610 人の入学定員を 675 人に増加させる。経営学科の過去 5 カ年の入試状況では、志願者数は 2011 年度から 2013 年度は 5,000 人から 6,000 人で推移しているが、2014 年度は 7,024 人、2015 年度は 8,419 人と増加傾向にある。志願倍率も過去 5 カ年の平均が 10.68 となっている。今次収容定員変更により入学定員が 675 人となっても、過去 5 カ年平均志願者数の比による志願倍率は 9.65 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、経営学部経営学科の志願者数は 9,126 人 (前年度 10,077 人) で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

<文学部人文学科>

文学部人文学科は 905 人の入学定員を 980 人に増加させる。過去 5 カ年の入試状況では、志願者数は 10,000 人から 12,000 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 カ年の平均が 10.42 となっている。今次収容定員変更により入学定員が 980 人となっても、過去 5 カ年平均志願者数の比による志願倍率は 11.74 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、文学部の志願者数は 10,871 人 (前年度 11,513 人) で総合心理学部開設もあり微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

<理工学部>

理工学部全体では 872 人の入学定員を 959 人に増加させる。過去 5 カ年の入試状況では、志願者数は 16,000 人から 19,000 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 カ年の平均が 20.05 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 959 人となっても、過去 5 カ年平均志願者数の比による志願倍率は 18.31 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、理工学部の志願者数は 18,055 人 (前年度 17,281 人) で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

学科ごとの入試状況は以下の通り。

a)電気電子工学科

電気電子工学科は 142 人の入学定員を 154 人に増加させる。過去 5 カ年の入試状況では、志願者数は 2,200 人から 2,800 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 カ年の平均が 20.03 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 154 人となっても、過去 5 カ年平均志願者数の比による志願倍率は 16.95 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、電気電子工学科の志願者数は 2,562 人 (前年度 2,498 人) で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

b)機械工学科

機械工学科は 160 人の入学定員を 173 人に増加させる。過去 5 カ年の入試状況では、

志願者数は 2,900 人から 4,000 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均が 24.83 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 173 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 20.87 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、機械工学科の志願者数は 3,782 人 (前年度 3,808 人) で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

c)都市システム工学科

都市システム工学科は 84 人の入学定員を 91 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 900 人から 1,600 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均が 15.95 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 91 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 14.73 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、都市システム工学科の志願者数は 1,428 人 (前年度 1,261 人) で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

d)環境システム工学科

環境システム工学科は 69 人の入学定員を 75 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 1,000 人から 1,600 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均が 18.18 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 75 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 16.73 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、環境システム工学科の志願者数は 1,495 人 (前年度 1,241 人) で増加しており、志願者確保は十分に見通せる。

e)ロボティクス学科

ロボティクス学科は 83 人の入学定員を 90 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 1,100 人から 1,800 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均が 19.23 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 90 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 17.60 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、ロボティクス学科の志願者数は 1,873 人 (前年度 1,798 人) で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

f)数理科学科

数理科学科は 90 人の入学定員を 97 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 1,300 人から 1,600 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均が 16.65 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 97 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 15.45 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、数理科学科の志願者数は 1,383 人 (前年度 1,309 人) で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

g)物理科学科

物理科学科は 80 人の入学定員を 86 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志

願者数は1,200人から1,600人台で推移しており、志願倍率も過去5カ年の平均が18.11と高い。今次収容定員変更により入学定員が86人となっても、過去5カ年平均志願者数の比による志願倍率は16.84である。

平成28(2016)年度一般入学試験では、物理科学科の志願者数は1,274人(前年度1,304人)で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

h)電子情報工学科

電子情報工学科は94人の入学定員を102人に増加させる。過去4カ年の入試状況では、志願者数は1,700人から1,900人台で推移しており、志願倍率も過去4カ年の平均が19.52と高い。今次収容定員変更により入学定員が102人となっても、過去5カ年平均志願者数の比による志願倍率は17.99である。

平成28(2016)年度一般入学試験では、電子情報工学科の志願者数は2,127人(前年度1,870人)で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

i)建築都市デザイン学科

建築都市デザイン学科は70人の入学定員を91人に増加させる。過去5カ年の入試状況では、志願者数は1,700人から2,200人台で推移しており、志願倍率も過去5カ年の平均が30.24と高い。今次収容定員変更により入学定員が91人となっても、過去5カ年平均志願者数の比による志願倍率は23.26である。

平成28(2016)年度一般入学試験では、建築都市デザイン学科の志願者数は2,131人(前年度2,192人)で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

<国際関係学部国際関係学科>

国際関係学部では305人の入学定員を335人に増加させる。過去5カ年の入試状況では、志願者数は2,600人から3,500人台で推移しており、志願倍率も過去5カ年の平均は10.11となっている。今次収容定員変更により入学定員が335人となっても、過去5カ年平均志願者数の比による志願倍率は9.16である。

平成28(2016)年度一般入学試験では、国際関係学部国際関係学科の志願者数は2,920人(前年度2,349人)で増加しており、志願者確保は十分に見通せる。

<政策科学部政策科学科>

政策科学部では360人の入学定員を410人に増加させる。過去5カ年の入試状況では、志願者数は3,600人台で安定して推移しており、志願倍率も過去5カ年の平均は10.14となっている。今次収容定員変更により入学定員が410人となっても、過去5カ年平均志願者数の比による志願倍率は8.90である。

平成28(2016)年度一般入学試験では、政策科学部政策科学科の志願者数は4,564人(前年度3,474人)で増加しており、志願者確保は十分に見通せる。

<情報理工学部(情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科、

知能情報学科) >

情報理工学部は、学生募集を学部一括で実施し 2 年次進級時に学科選択を行う形態をとっている。今次収容定員申請と関わってカリキュラム改革を行い平成 29 (2017) 年度入試からは 1 学科での学生募集となることから、学生確保の状況については学部全体の状況を記す。

情報理工学部では 440 人の入学定員を 475 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 4,200 人から 5,300 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均は 11.52 となっている。今次収容定員変更により入学定員が 475 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 10.67 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、情報理工学部の志願者数は 4,892 人 (前年度 5,055 人) で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

<映像学部映像学科>

映像学部では 150 人の入学定員を 160 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 1,300 人から 1,600 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均は 9.75 となっている。今次収容定員変更により入学定員が 160 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 9.14 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、映像学部映像学科の志願者数は 1,651 人 (前年度 1,475 人) で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

<生命科学部>

生命科学部全体では 280 人の入学定員を 325 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 6,700 人から 7,600 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均が 25.55 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 325 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 22.01 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、生命科学部の志願者数は 5,948 人 (前年度 6,590 人) で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

学科ごとの入試状況は以下の通り。

a)応用化学科

応用化学科は 80 人の入学定員を 111 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 2,400 人から 2,800 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均が 32.77 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 111 人となっても、過去 5 ヶ年平均志願者数の比による志願倍率は 23.61 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、応用化学科の志願者数は 2,221 人 (前年度 2,413 人) で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

b)生物工学科

生物工学科は 80 人の入学定員を 86 人に増加させる。過去 5 ヶ年の入試状況では、志願者数は 1,600 人から 2,300 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 ヶ年の平均が 23.71

と高い。今次収容定員変更により入学定員が 86 人となっても、過去 5 カ年平均志願者数の比による志願倍率は 22.05 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、生物工学科の志願者数は 1,622 人 (前年度 1,686 人) で微減したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

c)生命情報学科

生命情報学科は 60 人の入学定員を 64 人に増加させる。過去 5 カ年の入試状況では、志願者数は 1,000 人から 1,200 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 カ年の平均が 18.14 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 64 人となっても、過去 5 カ年平均志願者数の比による志願倍率は 17.00 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、生命情報学科の志願者数は 778 人 (前年度 1,200 人) で減少したが、これまでの志願者動向からも志願者確保は十分に見通せる。

d)生命医科学科

生命医科学科は 60 人の入学定員を 64 人に増加させる。過去 5 カ年の入試状況では、志願者数は 1,400 人から 1,800 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 カ年の平均が 25.81 と高い。今次収容定員変更により入学定員が 64 人となっても、過去 5 カ年平均志願者数の比による志願倍率は 24.19 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、生命医科学科の志願者数は 1,327 人 (前年度 1,291 人) で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

<スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科>

スポーツ健康科学部では 220 人の入学定員を 235 人に増加させる。過去 5 カ年の入試状況では、志願者数は 2,200 人から 2,600 人台で推移しており、志願倍率も過去 5 カ年の平均が 11.44 となっている。今次収容定員変更により入学定員が 235 人となっても、過去 5 カ年平均志願者数の比による志願倍率は 10.71 である。

平成 28 (2016) 年度一般入学試験では、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の志願者数は 2,415 人 (前年度 2,413 人) で微増しており、志願者確保は十分に見通せる。

イ 定員充足の根拠となる調査結果の概要

<添付資料>

- ・(資料 1) 志願者、受験者、合格者、入学者、入学定員、入学定員充足率、志願倍率の推移 (R2020 前半期：2011 年度～2015 年度)
- ・(資料 2) 立命館大学一般入学試験 都道府県別志願者数・手続者数の推移
- ・(資料 3) 平成 27 (2015) 年度学校基本調査 (速報値) II 調査結果の概要 [学校調査、学校通信教育調査 (高等学校)] 2. 高等学校 (全日制課程・定時制課程) 卒業生 (3) 進路状況 表 28 高等学校卒業生の都道府県別進学率及び卒業生に占める就職者の割合

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取り組みとしては、まず全国入試の実施があげられる。上記の通り本学は全国型の総合私立大学として、平成 27 (2015) 年度一般入試においても札幌から鹿児島まで全国に 31 試験地を設定し、他私大 (関西大学 (28 試験地)、関西学院大学 (23 試験地)、同志社大学 (17 試験地)、法政大学 (10 試験地)、明治大学 (8 試験地)) と比較しても、全国から学習意欲の高い受験生を受け入れる学生確保を進めているといえる。このことは試験地の設定にとどまらず、本学がキャンパスを設置する地域以外の北海道 (札幌)、名古屋、神戸、福岡に「立命館プラザ」を設置し、大学の様々な情報を発信するとともに、高校生、父母、高等学校等から直接、大学や入試についての相談を受けられる体制を確保している。

次に学生募集・入試広報の面では、立命館大学での正課・正課外を通じた「学び」を中心とした情報提供を重視し、高校生が具体的な目標を持って学部・学科選びを行うことが出来るよう、各キャンパスでのオープンキャンパスやキャンパス見学会の開催に加え、全国各地での入試対策やセミナーを開催している。また各高校や予備校を訪問しての大学説明会は年間を通じて行っており、教員が行う模擬授業等は、平成 26 (2014) 年度で約 140 高校に対して実施し、高校生や教員への立命館大学の「学び」についての具体的なイメージ形成に努めてきた。また大学案内や学部パンフレットといった紙媒体の広報紙にとどまらず、ホームページ、携帯サイトの充実、平成 25 (2013) 年度からはスマートフォンアプリを作製し、継続的な情報発信やコンテンツの充実を進めている。

加えて、留学生募集における日本語基準留学生募集については、日本語学校等の主催する留学フェア・進学相談会へ精力的に参加し、日本語学校関係者とのネットワーク強化に取り組んでいる。また、海外からの直接入学者層の受入を促進するための海外広報展開を強めている。英語基準留学生募集についても、海外での留学フェアや高校訪問等を行い、直接的な立命館大学のプレゼンスの向上、進学母体となる海外有力進学校とのネットワーク構築を進めている。いずれも留学生募集に関わっては、海外からの進学母体層に直接アプローチできる Web ページが重要であり、日本語以外の言語での Web ページの充実、英語を中心とした大学情報発信の強化を進めている。

学生確保に向けた組織的な体制としては、副学長を委員長とし、各学部の入試担当副学部長、教学や国際部門の長などで構成される「入学試験委員会」を置いて、入学試験執行、学生募集等の取り組みを大学として集約している。

毎年度の学生募集と入学者選抜の方法については、常任理事会のもとに、副総長を委員長とする「立命館大学入学政策委員会」を設置し、例年 7 月以降、前年度の各種入試結果のデータや大学の入学選抜をめぐる社会状況、他大学の動向等を分析し、12 月には次年度の入学者選抜、学生募集広報の政策の方向性を提起する検討を行っている。最終的には当該年度の志願状況等をふまえ、2 月から 3 月にかけて各学部教学展開、学生募集方針とも往復し、「立命館大学入学政策委員会」において次年度の学生募集と入学者選抜を確認するという、検証・改善のサイクルを進めている。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要)

①大学の人材養成に関する目的

平成 18 (2006) 年 7 月に策定された立命館憲章においては、「建学の精神と教学理念に基づき、『未来を信じ、未来に生きる』の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努める。」として人材像を提起している。こうした立命館憲章をふまえ、現在策定を進めている平成 28(2016)年度から平成 32 (2020) 年度の R2020 後半期中期計画においては、目指すべき人間像を以下のように提起し、目指す人間像を具体化するための、目標や行動計画の検討を進めている。

- ・世界を洞察し、変革していくために必要となる豊かな教養と確かな専門性、そして総合的人間力を備えた人間
- ・世界をフィールドとして、高い志やチャレンジ精神を持ち、どんな困難があっても果敢に乗り越えようとする強い意志と逞しさを備え、主体的かつ責任を持って創造的に問題解決を図ることのできる人間。そのために異なる文化や価値観、立場の人々ともお互いに尊重し、理解しあい、協働することのできる能力や行動特性、感性をもった地球市民
- ・アジア太平洋地域に位置する学園として、アジアの言語や多文化を理解し、アジアを中心とした国際社会の中で協働して創造性を発揮し、イノベーションを創出する人間
- ・地域との共生の中で発展してきた私立総合学園で学ぶことを自覚し、より一層、各キャンパス・学校の教育の特長を生かした地域社会との連携・共創・貢献に、主体的に参画できる感性・行動力を備えた人間

②学部・学科ごとの教育研究上の目的

立命館大学経済学部学部則第 3 条、立命館大学経営学部学部則第 3 条、立命館大学文学部学部則第 3 条、立命館大学理工学部学部則第 4 条、立命館大学国際関係学部学部則第 3 条、立命館大学政策科学部学部則第 3 条、立命館大学情報理工学部学部則第 3 条、立命館大学映像学部学部則第 3 条、立命館大学生命科学部学部則第 4 条、立命館大学スポーツ健康科学部学部則第 3 条に規定された「教育研究上の目的」は以下の通り。

<経済学部>

経済学部経済学科は、経済学を体系的かつ実践的に教育研究し、将来の経済社会を担う人材を育成することを目的とする。

<経営学部>

経営学部経営学科は、経営学を教育研究し、高い教養と経営学の専門知識をもち、企業経営に関する問題発見ならびに問題解決能力、広い視野で異文化を理解し尊重する能力を身につけた人間を育成することを目的とする。

<文学部>

文学部は、人文学を教育研究し、人間や世界の様々な文化について、幅広い知識と豊かな表現力を身につけ、人間と社会が抱える問題を究明し解決しようとする人間を育成することを目的とする。

<理工学部>

理工学部は、人間重視の理念のもと理学と工学の融合による独自の教育研究を行い、独創性と高い倫理観に裏付けされ、科学技術の新領域を拓き未来社会を支える人材を育成することを目的とする。

数理科学科は、専門教育の中で数学的思考力を研鑽し現代数学の理論的・応用的知識を身に付け、卒業後は研究職・教育職・専門職・公職等にあつて、数学・理学・工学のみならず幅広い領域において数学を研究・活用し、数学を通して人類の福祉と発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。

物理科学科は、自然科学の根幹となる力学・電磁気学・統計熱力学・量子力学に関する理解をもとに、新領域・境界領域の物理学の開拓を目標とする教育研究を行い、物理学の考え方を身に付け幅広い分野で活躍する人材を育成することを目的とする。

電気電子工学科は、電気・電子工学に関する広範な専門領域の基礎知識・技法の習得と、新技術領域を創造する課題探索・設定・解決能力の向上をはかる教育研究を行い、科学技術全般の発展の推進を通して社会貢献を果たす人材を育成することを目的とする。

電子情報工学科は、エレクトロニクス、集積回路、コンピュータ、ソフトウェア、情報通信に関する広範な専門領域において教育研究を行い、基本原理の理解と実践的研究課題を通じた技術力、問題解決能力をもって社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

機械工学科は、材料、設計・生産、制御・システム、環境・エネルギー等を基礎として、多角的な視点から工学に関する教育研究を行い、最先端の研究開発を通じて実践的なスキルを身につけた人材を育成することを目的とする。

ロボティクス学科は、機械、電気・電子、情報、材料、人間工学など広範な分野に関する教育研究を行い、多様な先端テクノロジーに精通し、それらを統合して新しいロボット開発に生かせる問題発見能力と問題解決能力を持った人材を育成することを目的とする。

都市システム工学科は、安全・安心な都市システムの創造・維持・管理に必要な技術を習得するための教育・研究を行うことにより、都市システムに関する課題に対して主体的に問題解決を行うとともに、最新の科学技術動向を理解し、それを説明できる知識と能力を持った人材を育成することを目的とする。

環境システム工学科は、環境問題の分析、環境の改善・管理、および新しい環境の創造を行うための工学的手法を活用し、他分野とも連携して総合的な立場から環境問題に取り組む人材を育成することを目的とする。

建築都市デザイン学科は、歴史や文化のコンテクストを読み取り、地域の個性を活かしながら建築・都市文化を継承・創造する理論・方法・技術に関する教育研究を行い、建築都市デザインに関する新しいニーズおよび複合的な課題に応えうる人材を育成することを目的とする。

<国際関係学部>

国際関係学部は、国際関係学を教育研究し、国際関係への深い知見と国際社会における行動力を有する人間を育成することを目的とする。

<政策科学部>

政策科学専攻は、政策科学に関する科目を教授し、問題解決指向的な精神を備えた政策実践力と政策構想力を持った人材を育成することを目標とする。

Community and Regional Policy Studies 専攻は、政策科学に関する科目を英語で教授し、問題解決指向的な精神を備えた政策実践力を持ったグローバル人材を育成することを目標とする。

<情報理工学部>

情報理工学部は、情報科学を基礎とした多様な分野の教育研究を通じて、グローバルコミュニケーションと独創性を持ち、革新的に社会の課題を解決していく人材を育成することを目的とする。

<映像学部>

映像学部は、映像学を教育研究することにより、映像と人間の関係に対する深い理解を有するとともに、映像コンテンツの可能性を開拓し、映像を通じて広く人類と社会に貢献していく人間を育成することを目的とする。

<生命科学部>

生命科学部は、豊かな教養と生命科学分野の幅広い素養を基礎に専門的力量を有し、生命科学と関連分野の発展に寄与するとともに、人間の幸福と自然が調和した持続可能で豊かな社会の実現に貢献する人材を育成することを目的とする。

応用化学科は、物質・生体分子の機能の解明や新物質を創製するための化学の理論と技術を教育研究し、材料科学からエネルギー、生命まで幅広い分野で応用展開できる人材を育成することを目的とする。

生物工学科は、化学、生物学、生化学、医科学などを基礎に生物工学を教育研究し、環境と生物・人間社会との関連性を理解しながら、生物工学の方法を応用展開できる人材を育成することを目的とする。

生命情報学科は、生命科学と情報科学を教育研究し、生命科学と情報科学の融合によるライフサイエンスの探究およびライフサイエンスの新たな方法を創生することができる人材を育成することを目的とする。

生命医科学科は、基礎生物学、生物工学および基礎医科学を教育研究し、生命科学に携わる者として必要な生命倫理、公衆衛生学などを修得し、生命現象の理解とともに人体の構造、機能、医療について学識を有する人材を育成することを目的とする。

<スポーツ健康科学部>

スポーツ健康科学部は、スポーツ健康科学の教育研究を通じて、グローバルな視野とリーダーシップを備え、スポーツ健康科学分野への理解を持ちつつ、社会の発展に貢献する人間を育成することを目的とする。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

平成26(2014)年度全体の進路・就職の状況でみれば、新卒求人倍率は前年度からの引き続きの景気感の改善を背景に1.61倍(平成25(2013)年度1.28倍)と大幅に上昇し(「第31回ワークス大卒求人倍率調査(平成27(2015)年卒)」(資料4)より)、ほぼ全業種にわたり中小企業を含めて企業側の意欲的な採用となった。これは厚生労働省がとりまとめた平成27(2015)年3月に大学を卒業する学生の就職状況(2月1日現在)の結果にも表れており、大学卒の就職内定率が86.7%と前年比3.8%増している(資料6)。

本学の平成26(2014)年度の状況においても学部就職決定率は95.7%(前年比1.2%増)と3年連続増加している。また、平成26(2014)年度卒業生4,943人(進路把握分)の業種別の傾向はサービス・情報業1,659人(34.3%)、製造業、1,114人(22.5%)、金融業774人(15.7%)、流通商事業698人(14.1%)、公務員410人(8.3%)、マスコミ160人(3.2%)、教員92人(1.9%)と多業種に人材を輩出していることが分かる。また、民間企業、公務員、教員への就職者の26.0%が出身地に本社・本部機能を置く企業・団体へUIターン就職しており、地方創生にも貢献している。

なお、上記の学部・学科ごとの教育研究上の目的と関わって、平成26(2014)年度の学部ごとの進路・就職状況は以下の通り(資料6)。

<経済学部>

経済学部の就職決定率は96.6%と全学の就職決定率を上回っている。業種別の傾向はサービス・情報業28.6%に次いで金融業26.7%と多く、以下、製造業20.3%、流通商事業13.8%、公務員8.6%、マスコミ1.7%、教員0.3%となっている。

<経営学部>

経営学部の就職決定率は96.3%と全学の就職決定率を上回っている。業種別の傾向はサービス・情報業33.0%、製造業21.7%、金融業21.4%が多く、以下、流通商事業16.4%、公務員とマスコミが同じ比率で3.6%を占め、教員は0.3%となっている。

<文学部>

文学部の就職決定率は全学の就職決定率には及ばないものの92.5%と高い水準となっている。業種別の傾向はサービス・情報業38.0%と最も多く、以下、製造業17.4%、流通商事業15.7%、金融業14.9%、公務員6.4%、教員4.6%、マスコミ2.5%となっており、公務員、教員輩出においても大きな実績を出している。

<理工学部>

理工学部の就職決定率は97.4%と全学の就職決定率を上回っている。業種別の傾向は製造業45.9%と半数近くを占め、以下サービス・情報業28.8%、公務員10.6%、流通商事業7.7%、金融業3.1%、教員3.3%、マスコミ0.4%となっている。

<国際関係学部>

国際関係学部の就職決定率は全学の就職決定率を上回っている。業種別の傾向はサービス・情報業 35.5%、製造業 27.7%と多く、金融業 13.6%、流通商事業 13.2%、マスコミ 7.0%、公務員 2.5%、教員 0.4%となっている。

<政策科学部>

政策科学部の就職決定率は全学の就職決定率には及ばないものの 95.5%と高い水準となっている。業種別の傾向はサービス・情報業 31.1%、製造業 22.7%、金融業 19.7%が多く、以下流通商事業 14.6%、公務員 9.4%、マスコミ 2.6%となっている。

<情報理工学部>

情報理工学部の就職決定率は全学の就職決定率には及ばないものの 92.9%と高い水準となっている。業種別の傾向はサービス・情報業 58.9%と 6割を占め、以下、製造業 24.1%、流通商事業 7.5%、金融業 4.7%、公務員 3.2%、マスコミ 1.6%となっている。

<映像学部>

映像学部の就職決定率は 98.1%と全学の就職決定率を上回っている。業種別の傾向はサービス・情報業 46.0%と半数近くを占めるとともに、マスコミが 28.7%と多くを占め、以下、流通商事業 16.1%、製造業 6.9%、金融業 1.1%、公務員 1.1%となっている。

<生命科学部>

生命科学部の就職決定率は全学の就職決定率には及ばないものの 95.4%と高い水準となっている。業種別の傾向は製造業 40.8%、サービス・情報業 33.3%と多く、以下、流通商事業 11.7%、金融業 5.8%、公務員 4.2%、教員 2.5%、マスコミ 1.6%となっている。

<スポーツ健康科学部>

スポーツ健康科学部の就職決定率は 97.8%と全学の就職決定率を上回っている。業種別の傾向はサービス・情報業 35.0%に次いで、流通商事業 23.6%、製造業 22.3%、金融業 8.3%、公務員 5.7%、マスコミ 3.8%、教員 1.3%となっている。

このことから、それぞれの学部における教育の特色を活かし、社会的、地域的人材需要に対応した人材を多数輩出していることが分かる。

なお、株式会社リクルートホールディングス リクルートワークス研究所が実施した「ワークス採用見通し調査（新卒：2016 年卒 中途：2015 年度）」（資料 7）によれば、平成 28（2016）年度卒対象の大学生・大学院生の新卒採用見通しは、「増える」が 14.0%、「減る」が 5.3%と「増える」が「減る」を上回り（+8.7%ポイント）、平成 27（2015）年度卒（+7.8%ポイント）に引き続き、大学生・大学院生の新卒採用数は増加する見通しが報告されている。業種別の新卒採用見通しでも、建設業で「増える」19.4%に対し「減る」は 4.6%、製造業で「増える」11.8%に対し「減る」は 5.6%、流通業で「増える」16.4%に対し「減

る」は6.8%、金融業で「増える」13.3%に対し「減る」は5.2%、サービス・情報業で「増える」14.1%に対し「減る」は4.4%と「増える」が上回っている。

このような背景をもとに、平成28(2016)年度から平成32(2020)年度の大学としての進路・就職政策を検討しており、そこでは学生の正課・正課外を通じた学生生活の充実を政策の中心に据え、低年次からのキャリア形成支援の積極展開、体系的なキャリア教育の展開、学生の卒業時の進路・就職納得度の目標設定と実現を進めることとしている。具体的には、入学時および1年次小集団クラスでのキャリアガイダンスの充実、キャリア教育科目の体系化と受講者増、インターンシップの充実、学生が自らの到達度と課題を自覚し更なる成長を促す自己省察の仕組みの充実、留学生支援およびグローバルキャリアの積極展開、地域のコア人材輩出促進のための地方優良企業や自治体等とのネットワーク強化、進路・就職に関わる学部・研究科の体制強化を掲げている。こうした取り組みを通して、立命館大学として、引き続き社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえた、教育と人材育成を進める。

<添付資料>

- ・(資料4) 第31回ワークス大卒求人倍率調査(2015年卒)
株式会社リクルートホールディングス リクルートワークス研究所
- ・(資料5) 平成26年度「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」
平成27年3月20日 厚生労働省
- ・(資料6) 2014年度卒業生(前期卒業者を含む)業界別進出状況
- ・(資料7) ワークス採用見通し調査(新卒:2016年卒 中途:2015年度)
株式会社リクルートホールディングス リクルートワークス研究所

(資料1) 志願者、受験者、合格者、入学者、入学定員、入学定員充足率、志願倍率の推移(R2020前半期:2011年度～2015年度)

* 2017年度収容定員変更に係る学則変更認可申請の対象学部・学科は網掛け部分

学部名	学科名		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	5カ年平均 ※注1	収容定員変 更後の入学 定員	5カ年平均志願 者数の比によ る志願倍率 ※注2	
法学部	法学科	志願者 (C)	6,607	6,800	7,058	6,927	7,811	7,041	790	-	
		受験者	6,477	6,656	6,916	6,787	7,598	-			
		合格者	2,789	3,065	3,160	3,625	3,512	-			
		入学者(A)	836	842	815	1,014	903	-			
		入学定員(B)	790	790	790	790	790	-			
		充足率A/B	1.058	1.066	1.032	1.284	1.143	1.116			
		志願倍率C/B	8.36	8.61	8.93	8.77	9.89	8.91			
経済学部	経済学科	志願者 (C)	6,317	6,662	5,946	6,139	6,658	6,344	795	-	
		受験者	6,206	6,515	5,804	6,009	6,517	-			
		合格者	2,802	2,930	2,694	2,916	2,779	-			
		入学者(A)	569	553	536	598	557	-			
		入学定員(B)	535	535	535	535	535	-			
		充足率A/B	1.064	1.034	1.002	1.118	1.041	1.052			
			志願倍率C/B	11.81	12.45	11.11	11.47	12.44	11.86		
	国際経済学科	志願者 (C)	1,851	2,123	1,786	1,688	2,490	1,988	-	-	
		受験者	1,820	2,091	1,729	1,652	2,452	-			
		合格者	896	990	878	934	1,048	-			
		入学者(A)	220	210	216	257	195	-			
		入学定員(B)	200	200	200	200	200	-			
		充足率A/B	1.100	1.050	1.080	1.285	0.975	1.098			
			志願倍率C/B	9.26	10.62	8.93	8.44	12.45	9.94		
	学部計	志願者 (C)	8,168	8,785	7,732	7,827	9,148	8,332	795	10.48	
		受験者	8,026	8,606	7,533	7,661	8,969	-			
		合格者	3,698	3,920	3,572	3,850	3,827	-			
		入学者(A)	789	763	752	855	752	-			
入学定員(B)		735	735	735	735	735	-				
充足率A/B		1.073	1.038	1.023	1.163	1.023	1.064				
		志願倍率C/B	11.11	11.95	10.52	10.65	12.45	11.34			
経営学部	経営学科	志願者 (C)	5,183	6,108	5,834	7,024	8,419	6,514	675	9.65	
		受験者	5,091	5,986	5,704	6,858	8,255	-			
		合格者	1,742	1,912	2,068	2,342	2,258	-			
		入学者(A)	644	618	649	694	667	-			
		入学定員(B)	610	610	610	610	610	-			
		充足率A/B	1.056	1.013	1.064	1.138	1.093	1.073			
			志願倍率C/B	8.50	10.01	9.56	11.51	13.80	10.68		
	国際経営学科	志願者 (C)	893	2,023	1,269	1,642	2,236	1,613	150	-	
		受験者	869	1,978	1,243	1,595	2,178	-			
		合格者	420	503	501	665	628	-			
		入学者(A)	164	171	166	179	167	-			
		入学定員(B)	150	150	150	150	150	-			
		充足率A/B	1.093	1.140	1.107	1.193	1.113	1.129			
			志願倍率C/B	5.95	13.49	8.46	10.95	14.91	10.75		
	学部計	志願者 (C)	6,076	8,131	7,103	8,666	10,655	8,126	825	9.85	
		受験者	5,960	7,964	6,947	8,453	10,433	-			
		合格者	2,162	2,415	2,569	3,007	2,886	-			
		入学者(A)	808	789	815	873	834	-			
入学定員(B)		760	760	760	760	760	-				
充足率A/B		1.063	1.038	1.072	1.149	1.097	1.084				
		志願倍率C/B	7.99	10.70	9.35	11.40	14.02	10.69			
産業社会学部	現代社会学科	志願者 (C)	8,296	10,163	9,818	10,646	9,440	9,673	900	-	
		受験者	8,163	9,978	9,605	10,405	9,238	-			
		合格者	2,690	2,700	2,708	2,857	2,904	-			
		入学者(A)	992	977	972	969	946	-			
		入学定員(B)	900	900	900	900	900	-			
		充足率A/B	1.102	1.086	1.080	1.077	1.051	1.079			
		志願倍率C/B	9.22	11.29	10.91	11.83	10.49	10.75			
文学部	人文学科	志願者 (C)	10,353	11,914	11,253	11,836	12,167	11,505	980	11.74	
		受験者	10,178	11,674	11,036	11,664	11,971	-			
		合格者	3,515	3,744	3,737	4,393	4,734	-			
		入学者(A)	1,202	1,198	1,156	1,172	1,217	-			
		入学定員(B)	1,102	1,105	1,105	1,105	1,105	-			
		充足率A/B	1.091	1.084	1.046	1.061	1.101	1.077			
		志願倍率C/B	9.39	10.78	10.18	10.71	11.01	10.42			

学部名	学科名		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	5カ年平均 ※注1	収容定員変 更後の入学 定員	5カ年平均志願 者数の比によ る志願倍率 ※注2
理 工 学 部	電気電子工学科	志願者 (C)	2,289	2,702	2,669	2,832	2,560	2,610	154	16.95
		受験者	2,255	2,645	2,585	2,758	2,506	-		
		合格者	889	1,073	1,080	1,106	1,123	-		
		入学者(A)	106	165	133	148	158	-		
		入学定員(B)	94	142	142	142	142	-		
		充足率A/B	1.128	1.162	0.937	1.042	1.113	1.076		
	志願倍率C/B	24.35	19.03	18.80	19.94	18.03	20.03			
	機械工学科	志願者 (C)	2,948	3,400	3,792	4,032	3,879	3,610	173	20.87
		受験者	2,873	3,322	3,696	3,938	3,779	-		
		合格者	1,140	1,272	1,226	1,370	1,443	-		
		入学者(A)	126	152	152	178	157	-		
		入学定員(B)	99	160	160	160	160	-		
		充足率A/B	1.273	0.950	0.950	1.113	0.981	1.053		
	志願倍率C/B	29.78	21.25	23.70	25.20	24.24	24.83			
	都市システム工学科	志願者 (C)	907	1,508	1,327	1,649	1,310	1,340	91	14.73
		受験者	879	1,469	1,289	1,606	1,278	-		
		合格者	534	523	454	486	512	-		
		入学者(A)	112	97	96	86	91	-		
		入学定員(B)	84	84	84	84	84	-		
		充足率A/B	1.333	1.155	1.143	1.024	1.083	1.148		
	志願倍率C/B	10.80	17.95	15.80	19.63	15.60	15.95			
	環境システム工学科	志願者 (C)	1,096	1,140	1,156	1,612	1,269	1,255	75	16.73
		受験者	1,072	1,114	1,128	1,569	1,226	-		
		合格者	516	529	472	571	580	-		
		入学者(A)	80	83	80	68	75	-		
		入学定員(B)	69	69	69	69	69	-		
		充足率A/B	1.159	1.203	1.159	0.986	1.087	1.119		
	志願倍率C/B	15.88	16.52	16.75	23.36	18.39	18.18			
	ロボティクス学科	志願者 (C)	1,134	1,491	1,606	1,861	1,830	1,584	90	17.60
		受験者	1,101	1,438	1,557	1,820	1,761	-		
		合格者	504	590	566	711	827	-		
		入学者(A)	94	79	91	95	105	-		
		入学定員(B)	79	83	83	83	83	-		
		充足率A/B	1.190	0.952	1.096	1.145	1.265	1.130		
	志願倍率C/B	14.35	17.96	19.35	22.42	22.05	19.23			
	数理科学科	志願者 (C)	1,514	1,495	1,622	1,532	1,330	1,499	97	15.45
		受験者	1,488	1,446	1,584	1,509	1,302	-		
		合格者	672	692	630	684	676	-		
		入学者(A)	100	102	88	86	100	-		
		入学定員(B)	90	90	90	90	90	-		
		充足率A/B	1.111	1.133	0.978	0.956	1.111	1.058		
	志願倍率C/B	16.82	16.61	18.02	17.02	14.78	16.65			
	物理科学科	志願者 (C)	1,220	1,667	1,519	1,508	1,328	1,448	86	16.84
		受験者	1,187	1,618	1,469	1,468	1,291	-		
		合格者	703	737	689	745	747	-		
		入学者(A)	89	92	75	74	95	-		
		入学定員(B)	80	80	80	80	80	-		
充足率A/B		1.113	1.150	0.938	0.925	1.188	1.063			
志願倍率C/B	15.25	20.84	18.99	18.85	16.60	18.11				
電子情報工学科	志願者 (C)	-	1,730	1,792	1,927	1,889	1,835	102	17.99	
	受験者	-	1,682	1,742	1,871	1,846	-			
	合格者	-	707	711	855	846	-			
	入学者(A)	-	92	95	108	94	-			
	入学定員(B)	-	94	94	94	94	-			
	充足率A/B	-	0.979	1.011	1.149	1.000	1.035			
志願倍率C/B	-	18.40	19.06	20.50	20.10	19.52				
建築都市デザイン学科	志願者 (C)	1,763	2,097	2,275	2,207	2,243	2,117	91	23.26	
	受験者	1,737	2,062	2,229	2,157	2,215	-			
	合格者	555	597	464	509	478	-			
	入学者(A)	74	95	70	93	70	-			
	入学定員(B)	70	70	70	70	70	-			
	充足率A/B	1.057	1.357	1.000	1.329	1.000	1.149			
志願倍率C/B	25.19	29.96	32.50	31.53	32.04	30.24				
電子光情報工学科	志願者 (C)	870	-	-	-	-	870	-	-	
	受験者	853	-	-	-	-	-			
	合格者	470	-	-	-	-	-			
	入学者(A)	88	-	-	-	-	-			
	入学定員(B)	79	-	-	-	-	-			
	充足率A/B	1.114	-	-	-	-	1.114			
志願倍率C/B	11.01	-	-	-	-	11.01				

学部名	学科名		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	5年平均 ※注1	収容定員変 更後の入学 定員	5年平均志願 者数の比によ る志願倍率 ※注2
理工学部	電子情報デザイン学科	志願者 (C)	1,004	-	-	-	-	1,004	-	-
		受験者	978	-	-	-	-	-		
		合格者	455	-	-	-	-	-		
		入学者(A)	88	-	-	-	-	-		
		入学定員(B)	74	-	-	-	-	-		
		充足率A/B	1.189	-	-	-	-	1.189		
	志願倍率C/B	13.57	-	-	-	-	13.57			
	マイクロ機械 システム工学科	志願者 (C)	1,260	-	-	-	-	1,260	-	-
		受験者	1,222	-	-	-	-	-		
		合格者	564	-	-	-	-	-		
		入学者(A)	106	-	-	-	-	-		
		入学定員(B)	74	-	-	-	-	-		
		充足率A/B	1.432	-	-	-	-	1.432		
	志願倍率C/B	17.03	-	-	-	-	17.03			
	学部 計	志願者 (C)	16,005	17,230	17,758	19,160	17,638	17,558	959	18.31
		受験者	15,645	16,796	17,279	18,696	17,204	-		
		合格者	7,002	6,720	6,292	7,037	7,232	-		
		入学者(A)	1,063	957	880	936	945	-		
入学定員(B)		892	872	872	872	872	-			
充足率A/B		1.192	1.097	1.009	1.073	1.084	1.091			
志願倍率C/B	17.94	19.76	20.36	21.97	20.23	20.05				
国際関係学部	国際関係学科	志願者 (C)	3,479	3,585	2,615	2,953	2,715	3,069	335	9.16
		受験者	3,394	3,493	2,538	2,882	2,670	-		
		合格者	968	891	918	1,003	981	-		
		入学者(A)	359	309	349	325	332	-		
		入学定員(B)	302	302	305	305	305	-		
		充足率A/B	1.189	1.023	1.144	1.066	1.089	1.102		
志願倍率C/B	11.52	11.87	8.57	9.68	8.90	10.11				
政策科学部	政策科学科	志願者 (C)	3,635	3,686	3,611	3,629	3,691	3,650	410	8.90
		受験者	3,544	3,625	3,540	3,565	3,627	-		
		合格者	1,225	1,217	1,306	1,318	1,296	-		
		入学者(A)	386	376	398	389	407	-		
		入学定員(B)	360	360	360	360	360	-		
		充足率A/B	1.072	1.044	1.106	1.081	1.131	1.087		
志願倍率C/B	10.10	10.24	10.03	10.08	10.25	10.14				
情報理工学部	学部 (情報システム学 科・情報コミュニケー ション学科・メディア情 報学科・知能情報学科) 計 ※注3	志願者 (C)	4,219	5,252	5,359	5,308	5,201	5,068	475	10.67
		受験者	4,118	5,114	5,210	5,125	5,049	-		
		合格者	1,915	1,917	1,916	1,951	2,009	-		
		入学者(A)	510	472	446	458	455	-		
		入学定員(B)	440	440	440	440	440	-		
		充足率A/B	1.159	1.073	1.014	1.041	1.034	1.064		
志願倍率C/B	9.59	11.94	12.18	12.06	11.82	11.52				
映像学部	映像学科	志願者 (C)	1,350	1,584	1,309	1,459	1,611	1,463	160	9.14
		受験者	1,314	1,558	1,285	1,428	1,574	-		
		合格者	368	380	380	419	397	-		
		入学者(A)	152	167	166	164	176	-		
		入学定員(B)	150	150	150	150	150	-		
		充足率A/B	1.01	1.11	1.11	1.09	1.17	1.10		
志願倍率C/B	9.00	10.56	8.73	9.73	10.74	9.75				
薬学部	薬学科 ※注4	志願者 (C)	2,117	2,235	2,430	2,191	1,678	2,130	100	-
		受験者	2,049	2,155	2,340	2,123	1,599	-		
		合格者	689	644	581	653	621	-		
		入学者(A)	111	101	108	99	103	-		
		入学定員(B)	100	100	100	100	100	-		
		充足率A/B	1.110	1.010	1.080	0.990	1.030	1.044		
	志願倍率C/B	21.17	22.35	24.30	21.91	16.78	21.30			
	創薬科学科	志願者 (C)	-	-	-	-	473	473	60	-
		受験者	-	-	-	-	458	-		
		合格者	-	-	-	-	259	-		
		入学者(A)	-	-	-	-	46	-		
		入学定員(B)	-	-	-	-	60	-		
		充足率A/B	-	-	-	-	0.767	0.767		
	志願倍率C/B	-	-	-	-	7.88	7.88			
	学部 計	志願者 (C)	2,117	2,235	2,430	2,191	2,151	2,225	160	-
		受験者	2,049	2,155	2,340	2,123	2,057	-		
		合格者	689	644	581	653	880	-		
		入学者(A)	111	101	108	99	149	-		
入学定員(B)		100	100	100	100	160	-			
充足率A/B		1.110	1.010	1.080	0.990	0.931	1.024			
志願倍率C/B	21.17	22.35	24.30	21.91	13.44	20.63				

学部名	学科名		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	5カ年平均 ※注1	収容定員変 更後の入学 定員	5カ年平均志願 者数の比によ る志願倍率 ※注2
生命科学部	応用化学科	志願者 (C)	2,417	2,817	2,693	2,737	2,442	2,621	111	23.61
		受験者	2,361	2,765	2,639	2,669	2,388	-		
		合格者	905	874	843	935	890	-		
		入学者(A)	84	98	84	101	73	-		
		入学定員(B)	80	80	80	80	80	-		
		充足率A/B	1.050	1.225	1.050	1.263	0.913	1.100		
	志願倍率C/B	30.21	35.21	33.66	34.21	30.53	32.77	86	22.05	
	志願者 (C)	1,884	1,668	2,366	1,845	1,719	1,896			
	受験者	1,845	1,636	2,312	1,802	1,678	-			
	合格者	684	641	590	602	632	-			
	入学者(A)	89	91	82	76	75	-			
	入学定員(B)	80	80	80	80	80	-			
	充足率A/B	1.113	1.138	1.025	0.950	0.938	1.033	64	17.00	
	志願倍率C/B	23.55	20.85	29.58	23.06	21.49	23.71			
	志願者 (C)	1,006	1,051	1,133	1,031	1,220	1,088			
	受験者	980	1,019	1,112	1,001	1,194	-			
	合格者	367	409	378	453	445	-			
	入学者(A)	66	67	62	77	63	-			
	入学定員(B)	60	60	60	60	60	-	64	24.19	
	充足率A/B	1.100	1.117	1.033	1.283	1.050	1.117			
志願倍率C/B	16.77	17.52	18.88	17.18	20.33	18.14				
志願者 (C)	1,476	1,839	1,477	1,630	1,320	1,548				
受験者	1,433	1,780	1,440	1,585	1,288	-				
合格者	529	586	461	507	518	-				
入学者(A)	76	57	71	57	61	-	325	22.01		
入学定員(B)	60	60	60	60	60	-				
充足率A/B	1.267	0.950	1.183	0.950	1.017	1.073				
志願倍率C/B	24.60	30.65	24.62	27.17	22.00	25.81				
志願者 (C)	6,783	7,375	7,669	7,243	6,701	7,154				
受験者	6,619	7,200	7,503	7,057	6,548	-				
合格者	2,485	2,510	2,272	2,497	2,485	-	7,629	11.45		
入学者(A)	315	313	299	311	272	-				
入学定員(B)	280	280	280	280	280	-				
充足率A/B	1.125	1.118	1.068	1.111	0.971	1.079				
志願倍率C/B	24.23	26.34	27.39	25.87	23.93	25.55				
志願者 (C)	79,733	88,943	86,322	90,413	91,490	87,380				
受験者	78,095	86,988	84,282	88,369	89,447	-	7,629	11.45		
合格者	30,070	30,730	30,074	33,320	33,780	-				
入学者(A)	7,770	7,482	7,380	7,801	7,625	-				
入学定員(B)	7,031	7,014	7,017	7,017	7,077	-				
充足率A/B	1.105	1.067	1.052	1.112	1.077	1.083				
志願倍率C/B	11.34	12.68	12.30	12.88	12.93	12.43				

注1 理工学部電子情報工学科は2012年度から2015年度の4カ年平均、理工学部電子光情報工学科、電子情報デザイン学科、マイクロ機械システム工学科は2011年度の1カ年のみ、薬学部創薬科学科は2015年度の1カ年のみを算出

注2 5カ年平均の志願者数/収容定員変更後の入学定員で算出

注3 情報理工学部は学則上、4学科(情報システム学科、情報コミュニケーション学科、メディア情報学科、知能情報学科)を設置しているが、一括募集を実施。

注4 薬学部薬学科は修業年限6年

注5 2017年度学則変更(収容定員変更)対象外の法学部、産業社会学部、薬学部を含む大学計

(資料2)立命館大学一般入学試験 都道府県別志願者数・手続者数の推移

	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度	
	志願者	手続者								
北海道	484	38	589	35	605	45	579	43	585	41
青森	58	8	85	3	81	4	98	11	91	7
岩手	73	15	97	5	83	10	82	7	82	4
宮城	224	18	573	28	329	26	328	23	287	14
秋田	72	5	90	5	80	6	70	3	69	7
山形	99	3	100	7	90	9	152	10	121	12
福島	181	11	343	19	176	16	210	15	186	16
計	707	60	1,288	67	839	71	940	69	836	60
茨城	369	31	553	26	382	31	451	33	371	28
栃木	209	15	362	28	284	22	239	26	234	9
群馬	364	27	453	31	305	17	335	21	355	29
埼玉	370	31	528	29	434	25	487	29	501	31
千葉	504	40	505	38	433	22	478	45	448	40
東京	888	60	1,268	77	1,162	85	1,250	68	1,126	70
神奈川	565	44	711	41	653	42	676	36	662	48
計	3,269	248	4,380	270	3,653	244	3,916	258	3,697	255
新潟	411	32	668	40	471	44	472	27	344	24
富山	1,055	63	1,357	52	1,347	58	1,353	76	1,334	65
石川	1,354	70	1,538	85	1,425	69	1,488	78	1,540	70
福井	970	54	1,241	54	1,199	67	1,241	62	1,296	68
山梨	159	11	228	19	199	8	160	13	135	10
長野	760	54	1,106	79	934	59	1,124	79	900	67
計	4,709	284	6,138	329	5,575	305	5,838	335	5,549	304
岐阜	2,254	105	2,359	104	2,378	112	2,403	115	2,098	78
静岡	1,982	140	2,517	146	2,374	120	2,520	155	2,541	167
愛知	6,875	398	7,919	389	7,860	381	8,306	470	8,410	469
三重	2,604	136	2,912	151	2,631	121	2,479	131	2,325	112
計	13,715	779	15,707	790	15,243	734	15,708	871	15,374	826
滋賀	4,928	315	5,499	323	5,638	297	5,526	307	5,659	316
京都	6,746	411	6,997	390	7,051	393	7,331	421	7,616	431
大阪	14,894	1,033	15,767	968	15,140	897	16,771	1,075	18,292	1,054
兵庫	6,048	377	6,765	362	6,861	348	7,321	447	8,176	446
奈良	2,857	168	2,860	159	2,855	169	3,227	175	3,176	190
和歌山	1,001	46	1,120	66	1,122	63	1,178	78	1,183	54
計	36,474	2,350	39,008	2,268	38,667	2,167	41,354	2,503	44,102	2,491
鳥取	464	25	403	19	557	38	531	28	601	32
島根	214	10	319	20	344	19	384	25	327	23
岡山	1,341	78	1,249	50	1,425	69	1,511	71	1,540	68
広島	3,347	220	3,953	192	3,717	181	3,637	171	3,461	177
山口	1,217	78	1,333	85	1,414	72	1,364	67	1,313	73
計	6,583	411	7,257	366	7,457	379	7,427	362	7,242	373
徳島	575	27	447	20	451	18	512	27	463	20
香川	1,239	60	1,253	65	1,209	57	1,478	82	1,303	63
愛媛	1,006	63	1,200	56	1,106	59	1,229	55	1,162	61
高知	674	45	641	28	667	22	610	33	571	27
計	3,494	195	3,541	169	3,433	156	3,829	197	3,499	171
福岡	3,195	186	3,543	198	3,603	210	3,687	213	3,437	186
佐賀	385	22	522	21	453	32	466	29	447	14
長崎	319	19	389	23	395	27	378	20	367	25
熊本	543	32	671	45	695	46	705	53	692	51
大分	400	32	465	20	419	19	419	21	313	19
宮崎	247	19	285	16	258	14	275	18	295	18
鹿児島	470	36	520	34	523	34	590	31	516	31
沖縄	94	6	207	17	202	11	204	13	235	14
計	5,653	352	6,602	374	6,548	393	6,724	398	6,302	358
その他	595	43	628	35	617	48	620	48	482	31
合計	75,683	4,760	85,138	4,703	82,637	4,542	86,935	5,084	87,668	4,910
近畿圏 外比率	51.8%	50.6%	54.2%	51.8%	53.2%	52.3%	52.4%	50.8%	49.7%	49.3%

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」 20 ページ

資料3 平成27（2015）年度学校基本調査（速報値）

Ⅱ 調査結果の概要〔学校調査、学校通信教育調査（高等学校）〕

2. 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業生（3）進路状況

表28 高等学校卒業生の都道府県別進学率及び卒業生に占める就職者の割合

2. 出典

文部科学省

3. 引用範囲

平成27（2015）年度学校基本調査（速報値）

Ⅱ 調査結果の概要〔学校調査、学校通信教育調査（高等学校）〕

2. 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業生（3）進路状況

表28 高等学校卒業生の都道府県別進学率及び卒業生に占める就職者の割合

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/houdou/_icsFiles/afieldfile/2015/12/25/1365647_02.pdf

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」 21-26 ページ

資料4 第31回ワークス大卒求人倍率調査 (2015年卒)

株式会社リクルートホールディングス リクルートワークス研究所

2. 出典

株式会社リクルートホールディングス リクルートワークス研究所

3. 引用範囲

第 31 回ワークス大卒求人倍率調査 (2015 年卒)

https://www.works-i.com/pdf/140424_dai.pdf

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」 27-36 ページ

資料5 平成26年度「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」

平成27年3月20日 厚生労働省

2. 出典

厚生労働省

3. 引用範囲

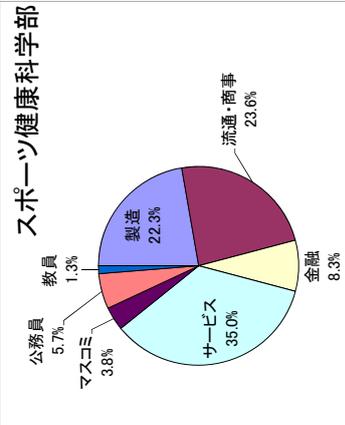
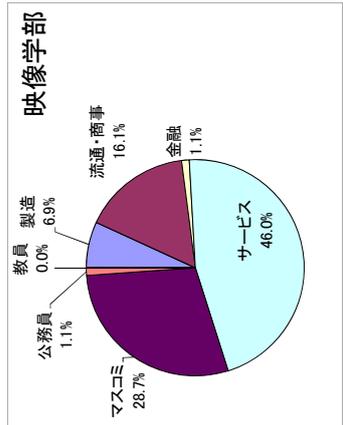
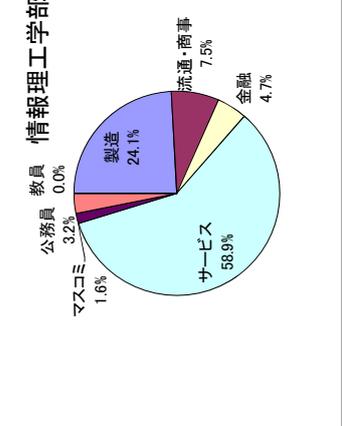
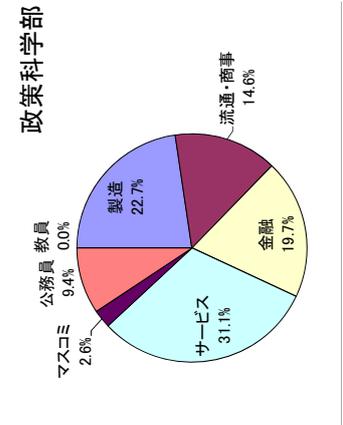
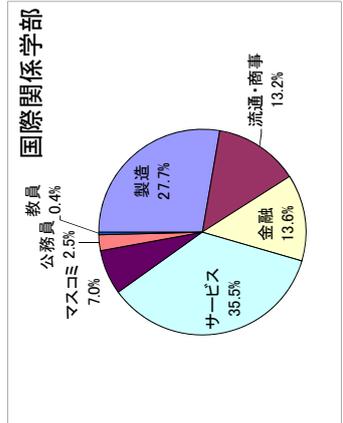
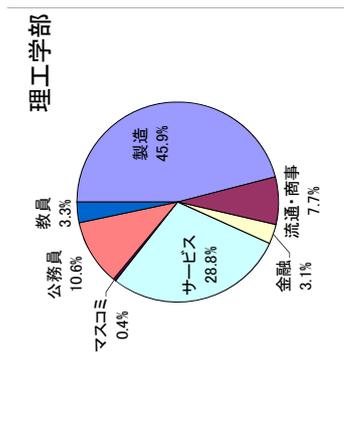
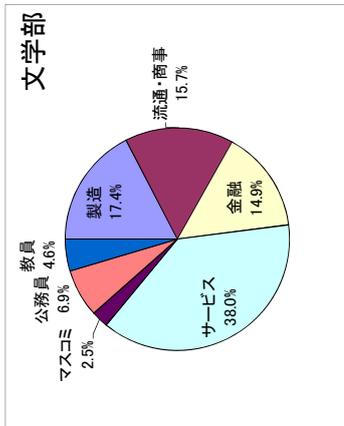
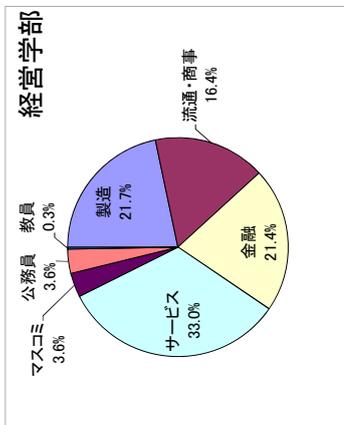
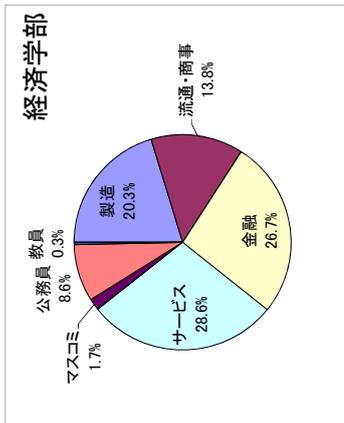
平成 26 年度「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」平成 27 年 3 月 20 日

<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11652000->

[Shokugyouanteikyokuhakenyukiroudoutaisakubu-](http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11652000-Shokugyouanteikyokuhakenyukiroudoutaisakubu-)

[.pdf](http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11652000-Shokugyouanteikyokuhakenyukiroudoutaisakubu-Jakunenshakoyoutaisakushitsu/0000077818.pdf)

(資料6)2014年度卒業生(前期卒業生を含む)業界別進出状況



1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」 38-43 ページ

資料7 ワークス採用見通し調査（新卒：2016年卒 中途：2015年度）

株式会社リクルートホールディングス リクルートワークス研究所

2. 出典

株式会社リクルートホールディングス リクルートワークス研究所

3. 引用範囲

ワークス採用見通し調査（新卒：2016年卒 中途：2015年度）

http://www.works-i.com/pdf/141211_saiyou.pdf